

- 問1 江戸時代後期の19世紀、日本橋を出発点とする街道の宿場町を鮮やかに描き、庶民の旅への憧れをかき立てた風景画のシリーズ『東海道五十三次』。この作品を描いた、安藤広重の名でも知られる浮世絵師は誰か。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 黒田清輝 2. 歌川広重 3. 雪舟 4. 菱川師宣
- 問2 日本の耕地面積の推移をまとめた統計によると、江戸時代が始まったばかりの十六世紀末には約百六十四万町歩であった全国の耕地面積が、十八世紀前半には約二百九十七万町歩へと、約百二十年あまりで二倍近くにまで急増しています。このような変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 奈良時代から続く班田収授法が江戸時代になって厳格に運用され、全ての農民に均等に土地が配られたため 2. 明治政府が土地の所有権を認め、地券を発行することで、農民が自由に土地を売買・開墾できるようになったため 3. 平安時代に出された墾田永年私財法により、開墾した土地を永久に私有することが認められ、意欲が高まったため 4. 幕府や藩が大規模な治水工事や灌漑事業を主導し、農民や町人の力も借りて積極的に耕地を増やしたため
- 問3 下総国佐原（現在の千葉県香取市）で名主を務めた後に隠居し、50歳を過ぎてから江戸で天文学や測量術を学び、約17年をかけて日本全国を歩いて実測による正確な日本地図を完成させた人物は誰ですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 間宮林蔵 2. 新井白石 3. 伊能忠敬 4. 杉田玄白
- 問4 江戸時代、近畿地方の大坂湾に面した場所に位置する大坂（大阪）は、全国の商品が集まる商業の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。諸大名が大坂に設置し、領地から送った年貢米や特産物を保管・販売するために利用した施設を何といいますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 蔵屋敷 2. 本陣 3. 問屋場 4. 唐人屋敷
- 問5 江戸時代の文化や学問における、人物とその功績の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 葛飾北斎が、『古事記』の研究を通して、日本古来の考え方を明らかにする国学を大成させた。 2. 近松門左衛門が、日本全国を巡り、各地の特産物や地理的特徴をまとめた農政学を確立した。 3. 伊能忠敬が、日本全国を実際に歩いて測量し、精度の高い日本地図を作成した。 4. 本居宣長が、風景画の連作である「富嶽三十六景」を完成させ、浮世絵の新しい境地を開いた。
- 問6 江戸時代初期に九州の島原や天草で発生した大規模な一揆である「島原・天草一揆」が起こった主な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと 2. 室町時代から続いていた勘合貿易が制限され、海外との自由な取引を求める商人が蜂起したこと 3. 豊臣秀吉による刀狩に反発した農民たちが、自衛のために武器の保持を求めて立ち上がったこと 4. 開国を求める外国船の来航が相次ぎ、幕府の鎖国政策に反対する勢力が武力行使に出たこと
- 問7 17世紀、日本との朱印船貿易によって東南アジア各地に日本町が形成された。このうち、東南アジアの略地図においてインドシナ半島の中央部（現在のタイ付近）に位置し、山田長政が王室に仕えて活躍した都市はどこか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. マカオ 2. マニラ 3. ジャカルタ 4. アユタヤ
- 問8 第8代将軍・徳川吉宗が行った「享保の改革」において、幕府の財政を立て直すために採用された、年貢の徴収に関する方針として最も適切なものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 年貢をすべて金納に切り替え、米の価格変動が財政に与える影響を排除した 2. 飢饉対策を優先するため、豊作の年でも年貢の割合を低く抑えるよう命じた 3. 農民の負担を軽減するため、商人の利益に課税する仕組みを優先した 4. 幕領の石高に対する年貢高の割合を高く維持し、収入の安定と増加を図った
- 問9 江戸時代を「近世」という一つの時代区分として捉える際、その政治的な背景として欠かせない仕組みは何ですか。将軍が全国の土地を把握し、大名にその統治を認める代わりに軍役や忠誠を求める、武家政権による安定した統治システムを指す言葉を答えなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 幕藩体制 2. 版籍奉還 3. 郡県制 4. 封建制度
- 問10 江戸幕府は、農民が田畑を永代にわたって売り買いすることを禁じた「田畑永代売買禁止令」や、米以外の作物を勝手に育てることを制限する「田畑勝手作の禁止」などの法令を相次いで出しました。幕府がこのような厳しい制限を農民に課した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 商工業を奨励して、商人から徴収する税金を財政の新たな柱とするため 2. キリスト教の浸透を防ぐために、村の団結を強めて信仰を監視するため 3. 農民の没落を防ぎ、幕府の主たる収入源である年貢を安定して確保するため 4. 全国の測量を正確に行い、海外との貿易で得た銀を年貢の代わりに納めさせるため
- 問11 18世紀末に、銃や旗を手にした多くの民衆が市街地で激しく戦い、国王による専制政治を打倒した市民革命が起こった国はどこか。この国では、革命後の混乱の中から軍人出身のナポレオンが台頭し、のちに皇帝としてヨーロッパの大部分を勢力下に置いた。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. ポルトガル 2. スペイン 3. ロシア 4. フランス
- 問12 1840年に勃発したアヘン戦争で、清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北したという情報は、当時の日本に大きな衝撃を与えました。この危機感から、薩摩藩や肥前藩などの諸藩が軍備を近代化するために、藩の財政を立て直す手段として強化した制度はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 領地内の全ての商人に自由な商売を認める楽市・楽座 2. 幕府が直接貿易を管理し、諸藩の介入を禁じる鎖国令 3. 凶作に備えて農民に食料を蓄えさせる配給制 4. 藩の特産物を強制的に買い上げて独占的に販売する専売制
- 問13 17世紀末から18世紀半ばにかけての江戸幕府の統計において、幕府領の石高（コメの生産高）が大幅に上昇している時期があります。これは、8代将軍が主導した改革の中で、幕府の財政安定を目指して行われた農地拡大の成果です。この農地拡大に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 「検地」を全国規模でやり直し、隠し田を摘発することで統計上の石高を無理やり引き上げた。 2. 幕府が町人の資金なども利用し、荒れ地や海辺を切り拓いて新たな耕作地を作る「新田開発」を推進した。 3. 長崎貿易での金・銀の流出を抑えるために、農産物の輸出を制限して国内の流通量を増やした。 4. 「備中鍬」などの新しい農具を幕府が全農家に配布し、既存の耕作地の深耕を促すことで生産力を高めた。